

事業報告書 (平成 30 年度)

事業名 地域を活かす農業と食の安全

団体名 おかやまエコマインドネットワーク

担当者名 藤原 幸蔵

※活動の様子がわかる写真（データもお願いします）と説明を必ず添付してください。

1. 活動内容 (日時、場所、参加対象者、人数、内容等)	
日時	平成 30 年 12 月 2 日 10:00~12:30
場所	岡山市立東公民館
参加対象者	一般地域住民 43 人 子ども 16 人 講師 4 人 平井婦人部協力 2 人 おかやまエコマインドネットワーク会員 11 人 (託児 1 人 託児スタッフ 2 人)
	参加者計 76 人
活動内容	<ol style="list-style-type: none">1 農業生産法人ワッカファーム代表・佐々木竜也氏の講演 佐々木氏と就農を志す若者が耕作放棄地を開墾し無農薬完全露地栽培の野菜を生産し販売している。取組んでいる農業の姿、種等について講演を実施。2 生ごみ堆肥箱を開発した山崎泰二氏の講演 可燃ごみの 40% を占める生ごみにコストをかけて焼却するのでなく家庭で堆肥化し、家庭菜園等に施肥して「食の循環」「ごみ減量」「CO₂ 排出減」を広める活動をしている山崎氏の講演を実施。3 子ども達には、特別ワークショップとして、フェアトレードについて、岡山フェアトレードの会の野本恭子氏が、分かり易く説明後、チョコバナナを作成・試食。4 フェアトレードについての講演。 子ども達に特別ワークショップで指導をした、野本恭子氏によるフェアトレードについて簡易的な講演を実施。5 ワッカファームで栽培し、販売されている有機無農薬野菜等を材料に、おかやまエコマインドネットワーク会員、平井婦人部が作った料理を試食した。
2. ESD の視点を取り入れたところ、ESD の視点で見直したところ	
	ワッカファーム佐々木氏が実践する農業は在来種を使った有機無農薬栽培で、持続可能となっている。また、安心できる食料を提供している。 また、山崎氏が推進する家庭生ごみの堆肥化は、食の循環・焼却ごみ減量・二酸化炭素排出減に貢献している。 更に、子ども達の特別ワークショップ及び、大人へのフェアトレードの講演におけるフェアトレードの会の方の話は、ESD で重要とされている社会・経済・環境のバランスについての入門編となっている。 いずれも ESD に直結している。
3. 取組の成果 (参加者にどのような意識や行動の教育上の成果があったか。感想など)	
	参加者アンケートの結果、次のような意見、感想があった。 ・ F1 雑種の種のこと、きになりました。ワッカファームさんの植物性の肥料にこだわっておられること、知りうれしかった。 ・ 食物の廃棄物を減らしたい。・ フードロスについて、飲み会の際に残さず食べる。 ・ 環境・食・エネルギーが別々のことではなく一体のものと考えていかねばならない。 ・ ごみを減らす。むだな物を買わない。 ・ 貧困問題としての学習に役立てたい。 ・ 少しずつ、地産のものとか、こだわっています。 ・ 無農薬、有機野菜環境等しっかり勉強しました。大根の葉っぱも勉強しました。

- ・有機栽培の取組については理解できた。ただ、残留農薬や遺伝子組み換え食物について、もう少し科学的根拠に基づいた説明が欲しかった。
 - ・食品の選択について目からうろこの思いでした。
 - ・今年から家庭菜園を始めましたが、やってみると疑問だらけ!“ふつう”と思われることが“ふつう”でなくなっていることに驚くばかり
- 他にも多くの感想があった。参加者の意識の変化を感じるとともに、自発的な意見も増え、私たちの思いを理解してくれていると感じることが出来た。

4. 今後の課題と展望

昨年耐震工事のため開催できなかった東公民館で1年遅れの実施であったが、昨年度までの経験より、エリアの参加者を増やすためには、当該公民館の婦人会、クラブなどへの呼びかけがポイントであることより、東公民館の協力のもと声掛けを実施、更に近くの小学校などにもチラシを置かせて貰った。大人の参加者は順調であったが、子どもの参加が伸びなかった。対策として子どもをターゲットとした別途チラシを作成し、東公民館協力のもと近くの小学校等に再募集を実施した。その結果、予定を越える参加者があり、若干名ではあるが、付き添いの大人もあった。今回の経験を活かし、子どもの参加を更に増やす工夫をすることで子どもへの啓発を進めるとともに、親子で参加することで子育て世代の参加を増やしていきたい。また、公民館で広がるような仕掛けづくりを考えていきたい。

事業の内容については、参加者の積極的で貴重な意見を得ることができ、成功であったと思う。今後、食品ロスに関するイベントとの連携を強化し、同様のイベントをいろいろな地域で開催できればと考えている。更にステップアップし、ゼロ円マーケット等の展開も考えていきたい。



当団体の代表 田淵 知子による
「挨拶及び導」



農業生産法人ワッカファーム代表・
佐々木竜也氏の講演

ワッカファームで栽培した有機無農薬野菜等

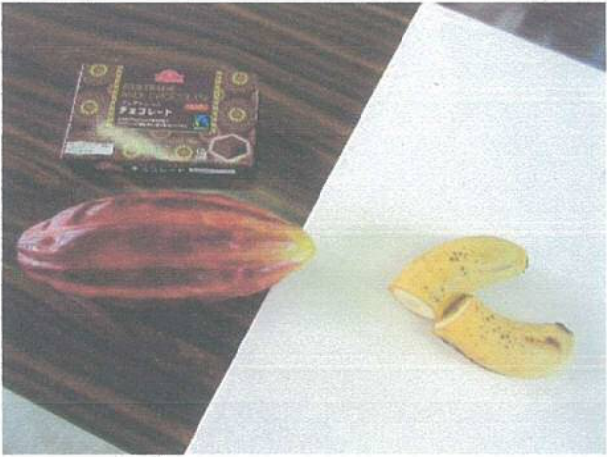


生ごみ堆肥箱を開発した山崎泰二氏の講演



子ども達の特別ワークショップ

「岡山フェアトレードの会の野本恭子氏によるフェアトレードの説明後、チョコバナナを作成・試食」



岡山フェアトレードの会の野本恭子氏によるフェアトレードについての講演



おかやまエコマインドネットワーク会員、平井婦人部が作った料理・試食

